

## 令和 2 年度 東郷町在宅医療・介護連携推進部会について

## 1 はじめに

東郷町在宅医療・介護連携推進部会は、地域包括ケアの推進を図るために設置されている東郷町地域ケア推進会議における、医療と介護の連携について検討を行う専門部会です。

令和 2 年 9 月に、厚生労働省から示されている「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」が改訂されました。それに伴い、医療介護連携の推進に係る 8 事業が見直しされ、PDCA サイクルの考え方とともに示されました（別紙 1）。今後はこれらに沿って事業を展開していく予定です。

## 2 令和 2 年度の主な活動内容

医療介護連携推進に係る 8 事業のうち、主に下記の内容について検討を行いました。

## イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

➡高齢者支援課及びかけはしによる居宅介護支援事業所等への訪問事業の実施報告

## エ 医療・介護関係者の情報共有の支援

➡電子@連絡帳（レガッタネットとうごう）の活用について

## カ 医療・介護関係者の研修

➡在宅ケアを考える会（多職種カンファレンス）の内容について  
（愛知県からリハ職を助言者として派遣要請し内容を検討）

## キ 地域住民への普及啓発

➡医療・介護フェア（Web 講演会）の実施

➡住民向け冊子（「東郷町認知症ケアパス」）の改訂

## その他 認知症初期集中支援チームの活動状況の評価及び検証

➡認知症初期集中支援チーム（オレンジケアとうごう）の活動内容の報告

## 3 開催日及び議題

第1回 R2. 7. 3（金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度の活動報告について</li> <li>・令和元年度在宅医療・介護連携推進部会医療・介護フェアの振り返りについて</li> <li>・令和 2 年度在宅医療・介護連携推進部会医療・介護フェアについて</li> <li>・令和 2 年度の活動内容について</li> <li>・令和 2 年度多職種ミーティング・多職種カンファレンスについて</li> </ul>
第2回 R2. 9. 28（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援課及びかけはしによる居宅介護支援事業所等への訪問事業について</li> <li>・令和 2 年度在宅医療・介護連携推進部会医療・介護フェア（Web講演会）について</li> <li>・令和 3 年度の住民向け周知啓発活動（医療・介護フェア等）について</li> </ul>
第3回 R3. 2. 22（月）～ 3. 7（日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・介護フェア</li> <li>「私らしい最期を迎えるために大切な人と話し合おう！」 （Web配信による講演会及びトークセッション）</li> <li>※YouTube上で2週間の期間限定で公開</li> </ul>

※例年、年間 5～6 回開催。会議時間は、1 回につき 1 時間から 2 時間程度です。

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3 回のみの開催となりました。

4 出席者（敬称略）

地域ケア推進会議 委員	医師（東名古屋東郷町医師会）【部会長】	松浦 誠司
	歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部）	岡松 猛
	薬剤師（東郷町薬剤師会）	佐藤 裕美
	訪問看護師（虹色訪問看護ステーション）	福島 美佐子
	東郷町北部地域包括支援センター	土井 肇
	東郷町南部地域包括支援センター東郷苑	山内 恵介
	居宅介護支援事業所（もみの木）	松山 陽二
	居宅サービス関係（エイジトピア諸輪）	近藤 修司
	豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし	池田 寛
議題の審議に 必要な者	訪問看護師（東郷町国民健康保険東郷診療所訪問看護ステーション）	中村 万季
	東郷町介護支援専門員連絡会（季楽居宅介護支援事業所 春夏秋冬）	近藤 明美
	訪問介護事業所（東郷町社会福祉協議会）	松下 紀夫
	東郷町リハビリテーション連絡協議会（和合の里）	久田 智之
オブザーバー	東名古屋医師会医療介護総合研究センターやまびこ	村井 良則

# 「8つの事業項目」から「PDCAサイクルに沿った取組」への見直しイメージ

令和2年度 全道介護保険担当課長会議資料  
令和2年7月31日

## 地域をめざす理想像

●切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

### ①現状分析・課題抽出・施策立案

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握
- 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
  - 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

### (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出

- 将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計（在宅医療など）

### (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

### ②対応策の実施

#### (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- コーディネーターの配置等による相談窓口の設置
- 関係者の連携を支援する相談会の開催

#### (ホ) 地域住民への普及啓発

- 地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催
- 周知資料やHP等の作成

+

<地域の実情を踏まえた柔軟な実施が可能>

#### (工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- 在宅での看取りや入退院時等に活用できるような情報共有ツールの作成・活用

#### (ク) 医療・介護関係者の研修

- 多職種協働・連携に関する研修の実施（地域ケア会議含む）
- 医療・介護に関する研修の実施

●地域の実情に応じて行う医療・介護関係者への支援の実施

### ③対応策の評価・改善

#### 都道府県主体の役割へ変更

（都道府県は、地域医療介護総合確保基金や保険者機能強化推進交付金等の財源を活用。また、保健所等を活用し、②対応策の実施も必要に応じ支援。）

事業全体の目的を明確化しつつ、PDCAサイクルに沿った取組を実施しやすくする  
観点、地域の実情に応じてより柔軟な運用を可能にする観点からの見直し

### ①地域の医療介護連携の実態把握、課題の検討、課題に応じた施策立案

#### (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

#### (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題の抽出、対応策を検討

### ②地域の関係者との関係構築・人材育成

#### (カ) 医療・介護関係者の研修

- 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催 等

### ③ (ア) (イ) に基づいた取組の実施

#### (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

#### (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- 情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

#### (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援

#### (ホ) 地域住民への普及啓発

- 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- 在宅での看取りについての講演会の開催等

#### (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

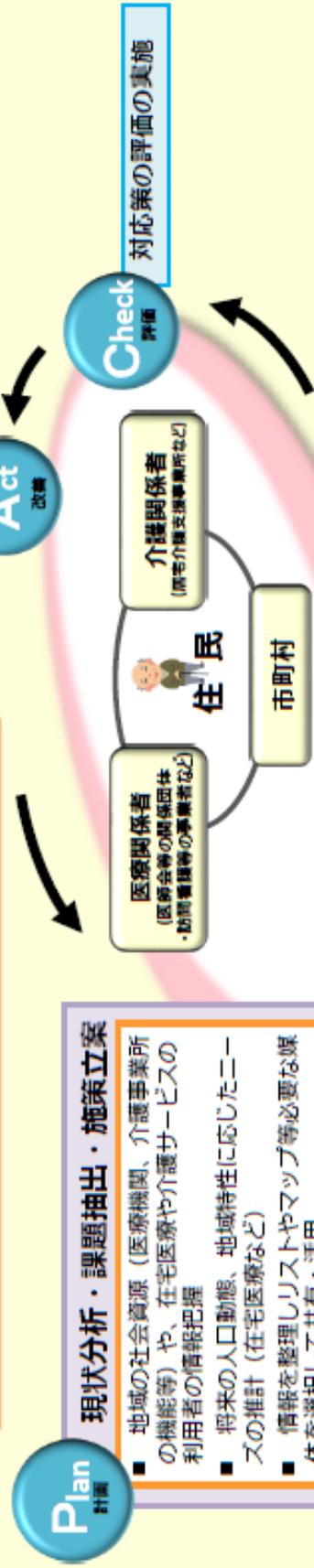
※あくまでも8つの事業項目の再編イメージであることに留意。実際の運用や語句イメージは、次のイメージを参照。なお、「(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進」には、「切れ目のない在宅医療・介護の提供体制」と「企画立案」の要素があったため、「地域のめざす理想像」と「現状分析・課題抽出・施策立案」の両方に表記

# 地域包括ケアシステムの実現に向けた第8期介護保険事業計画期間からの在宅医療・介護連携推進事業の在り方

令和2年度 全国介護保険担当課長会議資料  
令和2年7月31日

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築  
(看取りや認知症への対応を強化)

地域のめざすべき姿



**Plan 計画**

**現状分析・課題抽出・施策立案**

- 地域の社会資源（医療機関、介護事業所の機能等）や、在宅医療や介護サービスの利用者の情報把握
- 将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計（在宅医療など）
- 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

※企画立案時からの医師会等関係機関との協働が重要

**Do 実行**

**対応策の実施**

- 在宅医療・介護連携に関する相談支援
  - コーデイネーターの配置等による相談窓口の設置※1
  - 関係者の連携を支援する相談会の開催
- 地域住民への普及啓発
  - 地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催
  - 周知資料やHP等の作成



**Check 評価**

**対応策の評価の実施**

- 医療・介護関係者の情報共有の支援
  - 在宅での看取りや入院時等に活用できるような情報共有ツールの作成・活用
- 医療・介護関係者の研修
  - 多職種協働の活動・連携に関する研修の実施（地域ケア会議含む）
  - 医療・介護に関する研修の実施

○上記の他、医療・介護関係者への支援に必要な取組

＜市町村における庁内連携＞ 総合事業など他の地域支援事業との連携や、災害・救急時対応の検討

○在宅医療・介護連携推進のための技術的支援

- 分析に必要なデータの分析・活用の支援
- 他市町村の取組事例の横展開
- 市町村の実情に応じた資源や活動をコーディネートできる人材の育成

○在宅医療・介護連携に関する関係市町村等の連携

- 二次医療圏内にある市町村等及び二次医療圏をまたぐ広域連携が必要な事項について検討・支援
- 都道府県の医療及び福祉の両部局の連携
- 関係団体（都道府県医師会などの県単位の機関）との調整や、市町村が地域の関係団体と連携体制を構築する際の支援

○地域医療構想・医療計画との整合

※1:市町村単独での相談窓口設置が困難な場合は、柔軟な対応も検討